

遂行機能障害

ゆきよしクリニック

作業療法士 鶴巻 恵理子

遂行機能とは

- ・遂行機能: executive function

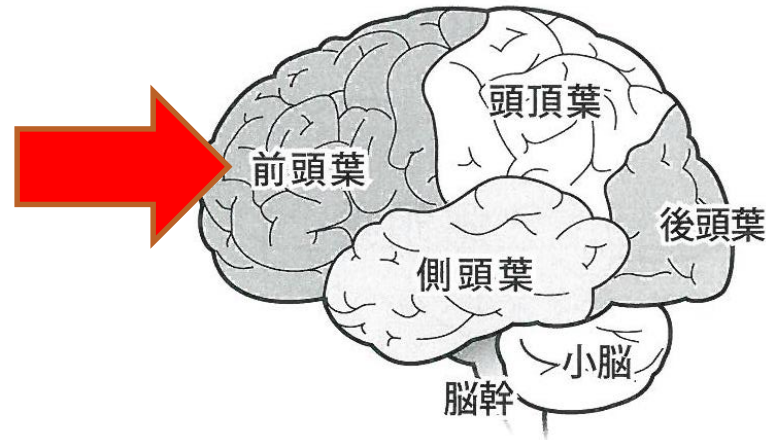
脳を統括し、管理・実行する
役割のこと。

これが障害されることを**遂行
機能障害**という。



障害部位

- ・主に、**前頭前野**の損傷によって起こる。



- ・発症の原因
交通事故による脳外傷
脳血管障害・脳腫瘍



症状

- 物事を段取り良く進めることができない。
- 一つが解決できないと、次にすすめない。
- 物事に柔軟に対応することができない。
- 予期できないことがあると混乱する。



評価方法

1. 行動評価

- 一日の活動がどのような手順で行われているか。
- 作業を段取り良くすすめられているか。
- どのような場面で混乱しやすいか。

2. 机上検査方法

- ハノイの塔
- Wisconsinカード分類検査

3. 家族が困っていることを聞く



遂行機能障害の対応方法①

〈ご本人ができること〉

- 具体的な、メモやスケジュールをつくる。
- 頻繁に確認するクセをつける。
- 仕事や作業は一つひとつ確実に行う。
- 混乱したら人に質問する。



遂行機能障害の対応方法②

〈周囲が支援すること〉

・具体的な指示をする。

ex)

×「この部屋の片付けをしてください」

○①「掃除機を押入れから出す」

②「床に掃除機をかける」

③「掃除機を押入れに片付ける」



症例紹介

50代 女性 左視床出血 軽度右麻痺

遂行機能障害,注意障害あり

ADLほぼ自立,体力低下あり

家族構成は夫と二人暮らし, 日中は一人で過ごす

〈自宅での様子〉

- ・ひとつの場所の掃除が終わらないと次の作業へ移れない。
- ・夫に家事の手順や頼みたい仕事を伝えることができない。

〈ご本人の希望〉

体力をつけて家事や夫の仕事の手伝いをしたい。

問題点の整理

〈遂行機能〉

- ・手順を立てられず，掃除が終わらない。
- ・適切な時間で休憩をとることができず家事を長時間続けてしまい疲労してしまう。

〈コミュニケーション〉

話したいことがまとまらずうまく伝えられない。



目標

＜短期目標＞

自主的に休憩をとりながら家事を続けることができる。

＜長期目標＞

主婦として、家事を行うことで家庭内の役割持つことができる。



プログラム

- スケジュール表の作成
- 生活状況のアドバイス
(休憩の促し, 活動量の確認)
- 右上肢ストレッチ
- 屋外歩行
- 家族支援: 家族にご本人の話を傾聴してもらえよう症状の説明や支援をお願いする。



今後の展望

本症例について、遂行機能障害に対する介入としてスケジュール表を作成しています。今後は自分で一日、一週間のスケジュール表の作成ができることを目指し家庭内の役割を持つことで生活に張り合いが持てるよう関わっていきたいと思います。

また、ご家族に対してはご本人だけで解決できないことも多いため周囲の理解が必要と考えます。

高次脳機能障害は「目に見えない障害」といわれているように、一見分かりにくい障害です。利用者様やご家族に対して内面的に抱えている悩みを傾聴し、具体的な対応方法を伝え互いに心地よく暮らしていけるよう支援してきたいと思います。